

100

年前にタイムスリップ

四国遍路の様子等

WORKSHOP

てくてくワークショップ

2019年2月10日(日)

14:00-15:30(受付は13:30より)

会場：総本山善通寺 遍照閣 2F

定員：120名

講師

モートン常慈

徳島大学教養教育院 准教授
Moreton George

参加費無料

ワークショップご参加登録はこちらから▼
<http://www.zentsuji-tekuteku.jp>

てくてくワークショップ

“100年前にタイムスリップ・四国遍路の様子等”

100年前の四国遍路と言えば、1918年の高群逸枝の巡礼が有名である。彼女が四国遍路を体験した頃、四国遍路の世界では他にも数多く興味深い出来事が起きている。しかし、それらは残念なことにほとんど知られていない。そこで、今回皆さんには100年前にタイムスリップして、当時の四国遍路の様子を体感して頂こうと思う。例えば、大正時代や昭和初期の外国人遍路の感想、寺院についての霊験記、不思議な風習、善根会の活動、そして国内外の四国遍路PR活動やイベント等。



徳島大学教養教育院 准教授

モートン常慈 Moreton George

1969年カナダ生まれ。1988年初来日。ブリティッシュコロンビア大学大学院東洋学部日本歴史専攻卒。1999年から四国遍路の研究に取り掛かり、現在は、主に外国人と四国遍路の歴史に焦点を当て研究テーマとしている。ガイドブックの出版や多数のテレビ・ラジオ番組の出演など、様々な活動を通して、日本だけでなく世界中に向けて、四国遍路の魅力を発信する活動に従事。

善通寺てくてく文化遺産プロジェクトとは

真言宗の開祖・弘法大師空海御誕生の地である香川県善通寺市は、市名の由来となった総本山善通寺をはじめ、四国八十八ヶ所霊場第72番から76番までの五つの札所寺院を擁する巡礼の都です。五岳山の連なる肥沃な地に、清らかな湧水を湛えるここ善通寺市は、かつての門前町としての風情を今に伝え、また古くは有岡古墳群などの遺跡を、そして近代では旧陸軍第11師団の建造物や善通寺駅舎等の産業遺産を残します。街をてくてく歩くと、それだけで私たちは多彩な価値・時代性を持ったいくつもの文化遺産と出会う事ができます。歴史の歩みから学び、その歩みを止める事なく前進し、文化遺産を次の世代へ伝承していくこと。てくてく文化遺産はこれからの歩みを「てくてく」明るく踏み出すためのプロジェクトです。

会場について

総本山善通寺 遍照閣 2F

〒765-8506 香川県善通寺市善通寺町3-3-1
Tel : 0877-62-0111(代) Fax : 0877-62-4302
<https://www.zentsuji.com>

公共交通機関でお越しの方○岡山方面より_JR 岡山駅から瀬戸大橋線を経由しJR 善通寺駅までお越しください(約60分)○高松方面より_JR 高松駅から予讃線・土讃線でJR 善通寺駅までお越しください(約60分)○JR 善通寺駅より徒歩約20分/タクシー約3分/市民バス(無料)を利用して約8分
※バス停「郷土館前」下車し徒歩3分

お車でお越しの方○岡山方面より_瀬戸中央自動車道 坂出インターより約20分 ○徳島・愛媛方面より_四国横断自動車道 善通寺インターより約10分
※駐車場は総本山善通寺の境内の西側に入口があります

飛行機でお越しの方○高松空港より車で約50分※高松からJR利用の場合は高松空港～JR 高松駅間はバス・タクシー利用で30～40分かかります



今回のワークショップについて

日程

2019年3月10日(日)

14:00~15:30

テーマ

善通寺の本尊薬師如来像と
運長

講師

三好賢子

日本彫刻史研究家